

12月度座談会

日妙聖人御書

* * 地区

背景と大意

- 文永9年 51才 在・佐渡
- 対告衆：日妙聖人（乙御前の母）
- 幼い娘を育て**純粹な信心**を貫く
- 幕府の**弾圧**で多くの門下が**退転**
- 鎌倉から佐渡まで**遠路**を訪ねる
- 妙法による**成仏**は**一念三千の肝心**
- 「**日妙聖人**」の名を贈られる

佐渡流罪と日妙聖人

国家権力の**大弾圧**
日蓮教団の**壊滅**



戦時中の**弾圧**
学会の**壊滅**

- 多くの**弟子が退転**、世情も不安定
- 日妙の**求道の志**⇒佐渡への訪問
- 樂法梵志、雪山童子を例に**激励**

偉大なる**求道心**・**純粹な信心**を貫け

我等具縛の凡夫

凡夫

煩惱・苦悩に
縛られる

妙法受持

釈尊の境涯

仏と等しい
功德を受る

- 末法の**凡夫**は貪瞋痴・**苦悩**の人生
- **妙法受持**により、**境涯革命**できる
- **生命の奥底**にある**仏界**を拓け

妙法実践で**人間革命**・**境涯革命**を

如我等無異

我が如く等しくして
異なること無からしめん

仏の誓願
衆生の成仏

- 学会こそ仏の誓願を継承
- 広布推進の実践が大境涯を拓く
- 究極の平等・民衆主義の依文

広布に戦う庶民こそ妙法の当体

指導より

- 学会員は**大聖人の弟子**であり、
最も尊い**地涌の菩薩**である
- 仏の**誓願**をわが心として**不二の道**
をすすめば**不二の境涯**となる
- 弟子が「**誓願の心**」を起こし
自ら**胸中の可能性**を拓け

一人一人が尊き**使命の道**を